

2020年10月29日

# 2021年3月期上期 決算カンファレンスコール

代表取締役社長  
谷本 秀夫

# 1. 2021年3月期上期 決算概要

## 2021年3月期上期 決算概要

(単位：百万円)

	2020年3月期上期		2021年3月期上期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	799,050	100.0%	<b>696,037</b>	<b>100.0%</b>	-103,013	-12.9%
営業利益	60,320	7.5%	<b>24,065</b>	<b>3.5%</b>	-36,255	-60.1%
税引前利益	85,213	10.7%	<b>48,249</b>	<b>6.9%</b>	-36,964	-43.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	59,614	7.5%	<b>34,360</b>	<b>4.9%</b>	-25,254	-42.4%
設備投資額	56,183	7.0%	<b>57,067</b>	<b>8.2%</b>	884	1.6%
有形固定資産減価償却費	29,134	3.6%	<b>35,031</b>	<b>5.0%</b>	5,897	20.2%
研究開発費	38,583	4.8%	<b>35,126</b>	<b>5.0%</b>	-3,457	-9.0%
平均為替レート	ドル	109円	<b>107円</b>			
	ユーロ	121円	<b>121円</b>			

(ご参考) 2021年3月期上期 為替変動による影響額 (前年同期比)：売上高 約 -60億円、税引前利益 約 -10億円

**新型コロナウイルス感染症の影響を主因に減収減益**

## 2021年3月期上期 業績サマリー

−

### 1. 新型コロナウイルス感染症による主要市場での需要減

- ✓ 自動車関連市場：自動車の生産活動停滞を受け、「電子デバイス」を中心に部品の需要が減少
- ✓ ドキュメント市場：オフィスへの出勤抑制に伴い、機器及び消耗品の需要が減少

+

### 2. 5G及び通信インフラ関連部品の需要増

- ✓ 半導体関連部品：5G対応端末や基地局向け水晶・SAWデバイス用パッケージ、通信インフラ向け光通信用パッケージの需要が増加

+

### 3. M&Aによる売上貢献：産業・自動車用部品にて約 + 140億円

- ✓ 2019年6月：SouthernCarlson Inc.（空圧・電動工具販売会社）
- ✓ 2019年9月：Friatec GmbH セラミック事業（セラミック部品製造・販売会社）
- ✓ 2020年6月：昭和オプトロニクス株式会社（光学部品製造・販売会社）

## 2021年3月期上期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2020年3月期上期		2021年3月期上期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	167,152	20.9%	<b>167,187</b>	<b>24.0%</b>	35	0.0%
半導体関連部品	123,095	15.4%	<b>122,509</b>	<b>17.6%</b>	-586	-0.5%
電子デバイス	167,551	21.0%	<b>138,964</b>	<b>20.0%</b>	-28,587	-17.1%
部品事業 計	457,798	57.3%	<b>428,660</b>	<b>61.6%</b>	-29,138	-6.4%
コミュニケーション	※ 134,287	16.8%	<b>107,462</b>	<b>15.4%</b>	-26,825	-20.0%
ドキュメントソリューション	177,884	22.3%	<b>138,140</b>	<b>19.9%</b>	-39,744	-22.3%
生活・環境	※ 37,829	4.7%	<b>28,336</b>	<b>4.1%</b>	-9,493	-25.1%
機器・システム事業 計	350,000	43.8%	<b>273,938</b>	<b>39.4%</b>	-76,062	-21.7%
その他	7,801	1.0%	<b>7,937</b>	<b>1.1%</b>	136	1.7%
調整及び消去	※ -16,549	-2.1%	<b>-14,498</b>	<b>-2.1%</b>	2,051	-
売上高	799,050	100.0%	<b>696,037</b>	<b>100.0%</b>	-103,013	-12.9%

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期上期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

## 2021年3月期上期 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

	2020年3月期上期		2021年3月期上期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	9,234	5.5%	<b>4,830</b>	<b>2.9%</b>	-4,404	-47.7%
半導体関連部品	14,490	11.8%	<b>12,103</b>	<b>9.9%</b>	-2,387	-16.5%
電子デバイス	24,978	14.9%	<b>8,624</b>	<b>6.2%</b>	-16,354	-65.5%
部品事業 計	48,702	10.6%	<b>25,557</b>	<b>6.0%</b>	-23,145	-47.5%
コミュニケーション	※ 5,117	3.8%	<b>3,910</b>	<b>3.6%</b>	-1,207	-23.6%
ドキュメントソリューション	18,883	10.6%	<b>6,050</b>	<b>4.4%</b>	-12,833	-68.0%
生活・環境	※ -5,058	—	<b>-7,410</b>	—	-2,352	—
機器・システム事業 計	18,942	5.4%	<b>2,550</b>	<b>0.9%</b>	-16,392	-86.5%
その他	-1,920	—	<b>-1,276</b>	—	644	—
事業利益 計	65,724	8.2%	<b>26,831</b>	<b>3.9%</b>	-38,893	-59.2%
本社部門損益等	※ 19,489	—	<b>21,418</b>	—	1,929	9.9%
税引前利益	85,213	10.7%	<b>48,249</b>	<b>6.9%</b>	-36,964	-43.4%

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期上期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

## 2021年3月期第2四半期 決算概要 -第1四半期比-

(単位：百万円)

	2021年3月期				増減	
	第1四半期		第2四半期			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	317,094	100.0%	<b>378,943</b>	<b>100.0%</b>	61,849	19.5%
営業利益	7,574	2.4%	<b>16,491</b>	<b>4.4%</b>	8,917	117.7%
税引前利益	30,411	9.6%	<b>17,838</b>	<b>4.7%</b>	-12,573	-41.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	22,380	7.1%	<b>11,980</b>	<b>3.2%</b>	-10,400	-46.5%
設備投資額	26,458	8.3%	<b>30,609</b>	<b>8.1%</b>	4,151	15.7%
有形固定資産減価償却費	17,065	5.4%	<b>17,966</b>	<b>4.7%</b>	901	5.3%
研究開発費	17,355	5.5%	<b>17,771</b>	<b>4.7%</b>	416	2.4%
平均為替レート	ドル	108円		<b>106円</b>		
	ユーロ	118円		<b>124円</b>		

## 2021年3月期第2四半期 業績サマリー

+

### 1. 第1四半期を底に主要市場での需要は回復

- ✓ 自動車関連市場：自動車の生産活動回復に伴い、「電子デバイス」を中心に部品の需要が増加
- ✓ ドキュメント市場：市況が回復した地域において、機器及び消耗品の需要が増加

+

### 2. スマートフォン向け部品の需要増

- ✓ イメージセンサ用セラミックパッケージやセラミックコンデンサ、水晶部品等の売上が、スマートフォンの新モデル向けに増加



## 2021年3月期第2四半期 事業セグメント別売上高 -第1四半期比-

(単位：百万円)

	2021年3月期第1四半期		2021年3月期第2四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	80,596	25.4%	<b>86,591</b>	<b>22.8%</b>	5,995	7.4%
半導体関連部品	56,124	17.7%	<b>66,385</b>	<b>17.5%</b>	10,261	18.3%
電子デバイス	61,440	19.4%	<b>77,524</b>	<b>20.5%</b>	16,084	26.2%
部品事業 計	198,160	62.5%	<b>230,500</b>	<b>60.8%</b>	32,340	16.3%
コミュニケーション	49,737	15.7%	<b>57,725</b>	<b>15.3%</b>	7,988	16.1%
ドキュメントソリューション	60,058	18.9%	<b>78,082</b>	<b>20.6%</b>	18,024	30.0%
生活・環境	12,362	3.9%	<b>15,974</b>	<b>4.2%</b>	3,612	29.2%
機器・システム事業 計	122,157	38.5%	<b>151,781</b>	<b>40.1%</b>	29,624	24.3%
その他	3,757	1.2%	<b>4,180</b>	<b>1.1%</b>	423	11.3%
調整及び消去	-6,980	-2.2%	<b>-7,518</b>	<b>-2.0%</b>	-538	-
売上高	317,094	100.0%	<b>378,943</b>	<b>100.0%</b>	61,849	19.5%

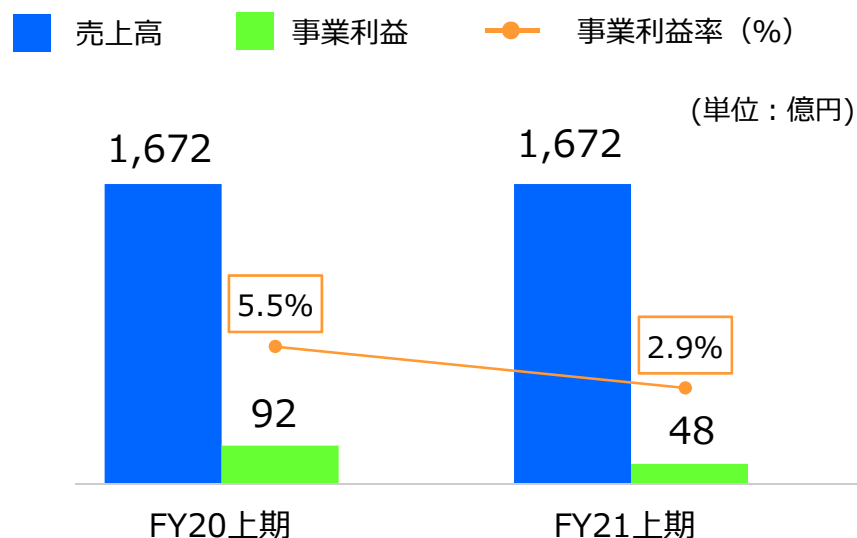
## 2021年3月期第2四半期 事業セグメント別利益 -第1四半期比-

(単位：百万円)

	2021年3月期第1四半期		2021年3月期第2四半期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	1,666	2.1%	<b>3,164</b>	<b>3.7%</b>	1,498	89.9%
半導体関連部品	5,623	10.0%	<b>6,480</b>	<b>9.8%</b>	857	15.2%
電子デバイス	2,407	3.9%	<b>6,217</b>	<b>8.0%</b>	3,810	158.3%
部品事業 計	9,696	4.9%	<b>15,861</b>	<b>6.9%</b>	6,165	63.6%
コミュニケーション	1,697	3.4%	<b>2,213</b>	<b>3.8%</b>	516	30.4%
ドキュメントソリューション	1,809	3.0%	<b>4,241</b>	<b>5.4%</b>	2,432	134.4%
生活・環境	-3,834	-	<b>-3,576</b>	-	258	-
機器・システム事業 計	-328	-	<b>2,878</b>	<b>1.9%</b>	3,206	-
その他	-633	-	<b>-643</b>	-	-10	-
事業利益 計	8,735	2.8%	<b>18,096</b>	<b>4.8%</b>	9,361	107.2%
本社部門損益等	21,676	-	<b>-258</b>	-	-21,934	-
税引前利益	30,411	9.6%	<b>17,838</b>	<b>4.7%</b>	-12,573	-41.3%

## 2021年3月期上期 事業セグメント別業績 (1) 産業・自動車用部品

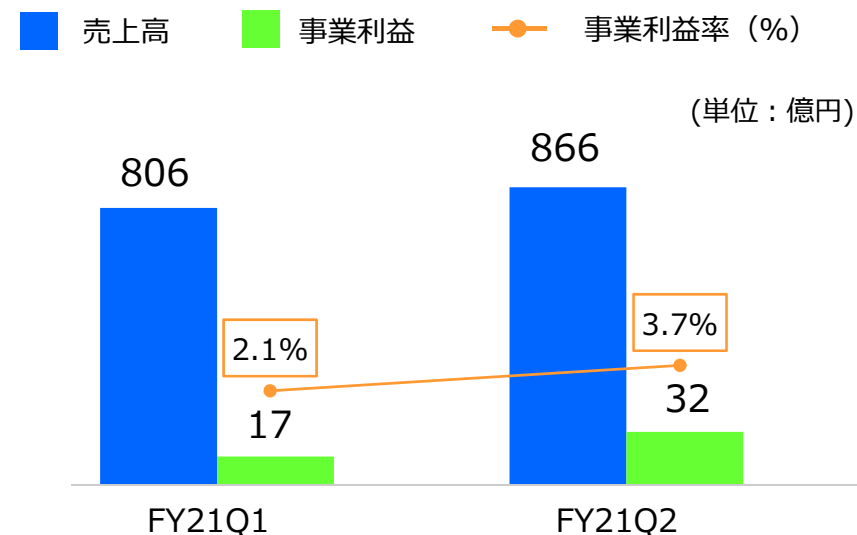
### FY21上期 (前年同期比)



#### <増減要因>

- + M&Aの貢献による空圧・電動工具の増収、及び半導体製造装置用部品の売上増
- ディスプレイ等の自動車関連部品の売上減
- 自動車関連部品の売上減及び減価償却費等の増加により減益

### FY21Q2 (前四半期比)

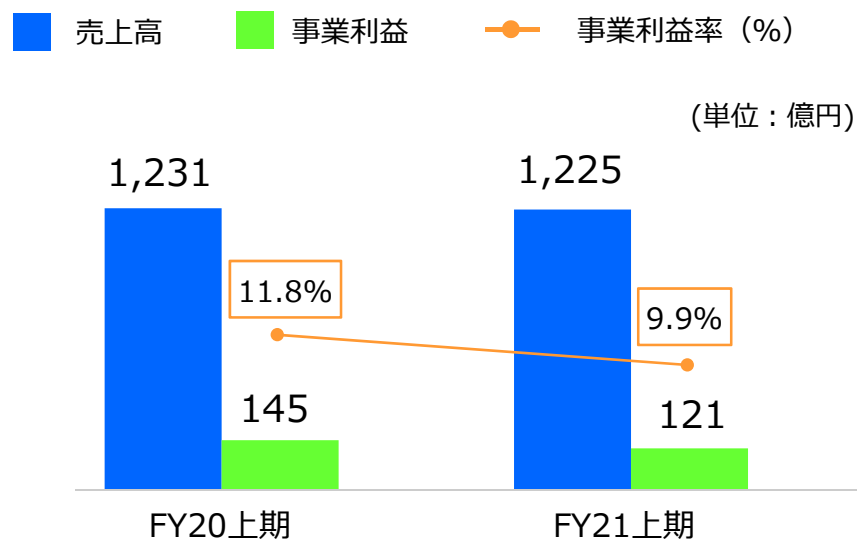


#### <増減要因>

- + 車載カメラや切削工具等、自動車関連市場向け製品の需要回復
- + M&Aの貢献による光学部品の売上増

## 2021年3月期上期 事業セグメント別業績 (2) 半導体関連部品

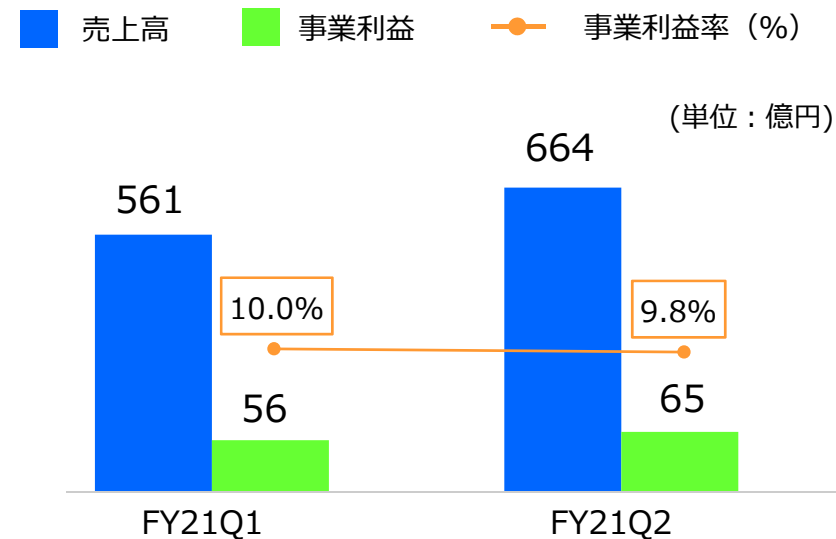
FY21上期 (前年同期比)



### <増減要因>

- + 5G対応スマートフォンや通信インフラ向けセラミックパッケージの需要増
- 車載向け有機多層ボード等の売上減
- 減価償却費等の増加により事業利益は減少

FY21Q2 (前四半期比)

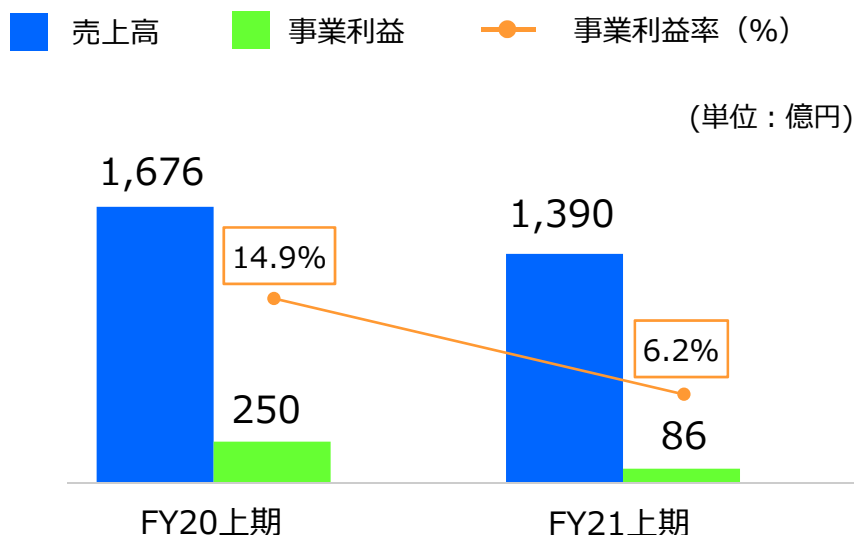


### <増減要因>

- + スマートフォン向けセラミックパッケージの需要増
- + 通信インフラ向け有機多層パッケージ等の需要増

## 2021年3月期上期 事業セグメント別業績 (3) 電子デバイス

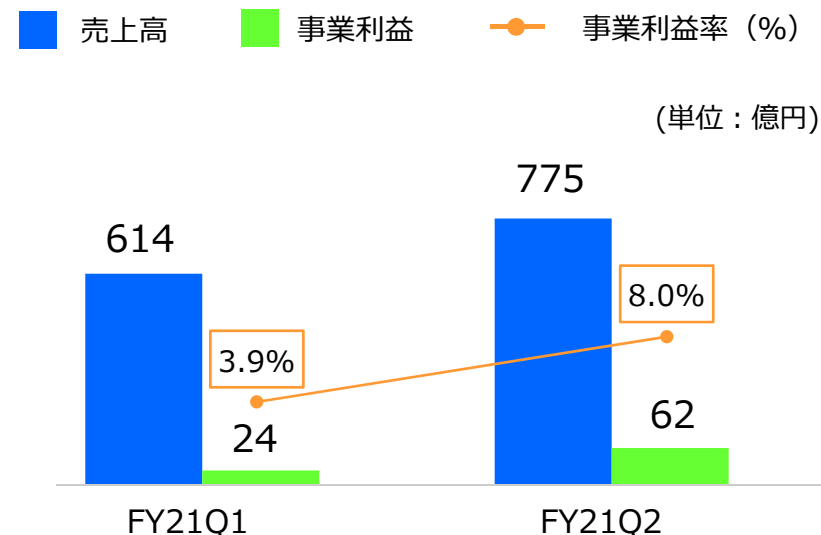
### FY21上期 (前年同期比)



#### <増減要因>

- − 自動車関連市場等、主要市場での需要減によるAVX Corporationの売上減
- − 捺染市場向けプリンティングデバイスの需要減
- − 減収を主因に減益

### FY21Q2 (前四半期比)

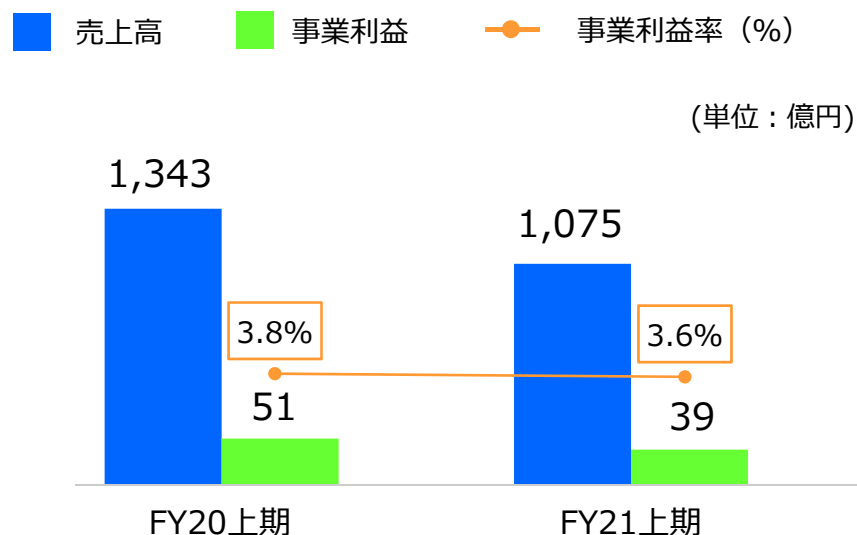


#### <増減要因>

- + 自動車関連市場等の回復に伴うAVX Corporationの売上増
- + スマートフォン向けセラミックコンデンサ、水晶部品等の需要増

## 2021年3月期上期 事業セグメント別業績 (4) コミュニケーション

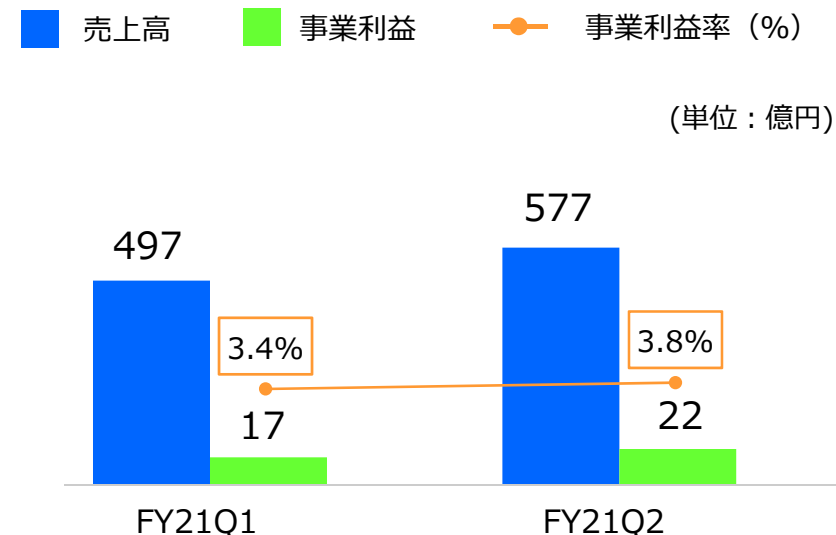
### FY21上期 (前年同期比)



#### <増減要因>

- − 通信機器事業における携帯電話の販売台数減
- − 情報通信サービス事業におけるエンジニアリング事業の売上減
- + 事業利益率は原価低減により、前年同期と同水準を維持

### FY21Q2 (前四半期比)

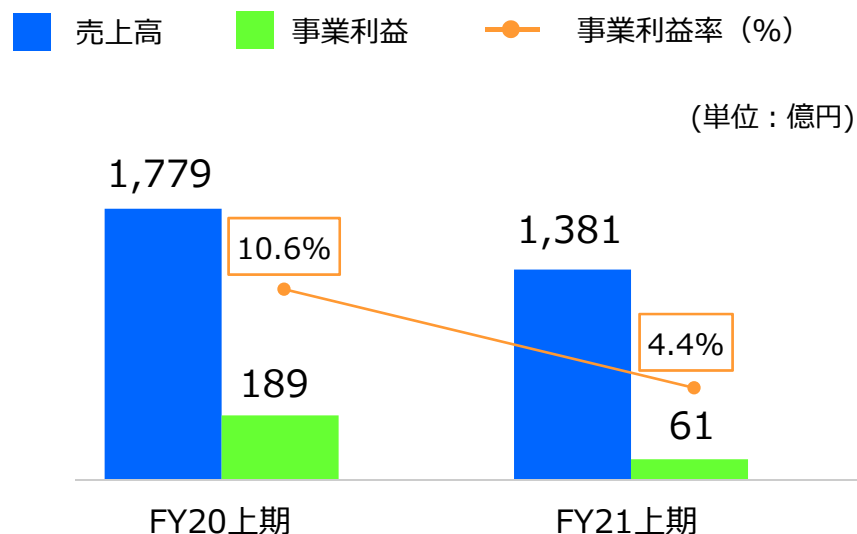


#### <増減要因>

- + 新機種の発売による携帯電話の販売台数増
- + エンジニアリング事業の売上増

## 2021年3月期上期 事業セグメント別業績 (5) ドキュメントソリューション

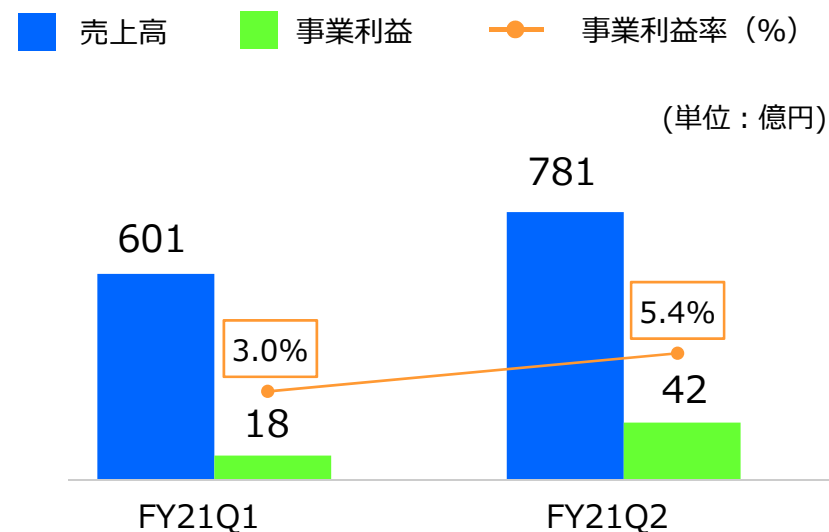
### FY21上期 (前年同期比)



#### <増減要因>

- オフィスへの出勤抑制に伴うプリンター、MFP、消耗品の需要減

### FY21Q2 (前四半期比)

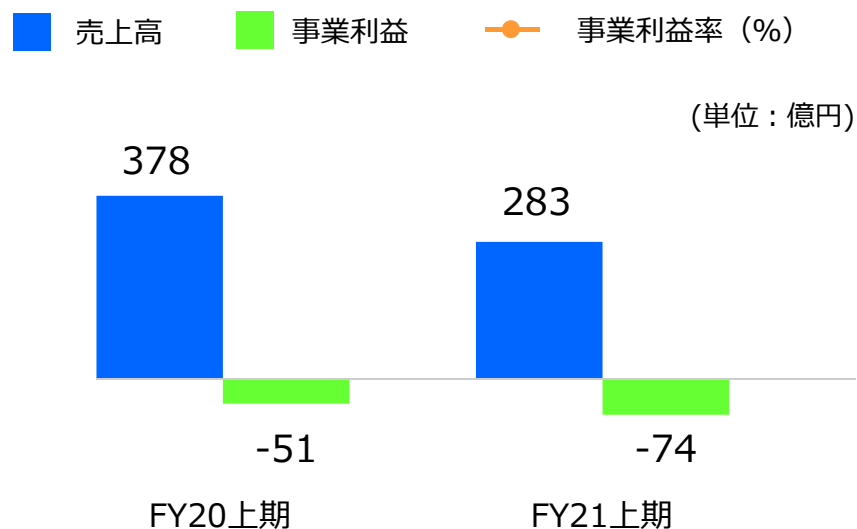


#### <増減要因>

- + 市況が回復した地域でのプリンター、MFPの販売台数増加及び消耗品の需要回復

## 2021年3月期上期 事業セグメント別業績 (6) 生活・環境

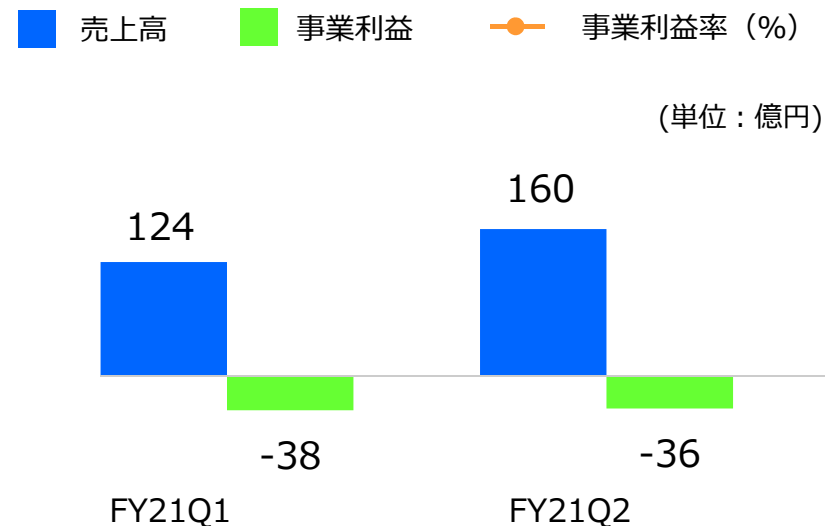
### FY21上期 (前年同期比)



#### <増減要因>

- スマートエナジー事業における太陽光発電システム等の販売減

### FY21Q2 (前四半期比)



#### <増減要因>

- + スマートエナジー事業における太陽光発電システム等の販売増



## **2. 2021年3月期 業績予想**

## 2021年3月期下期の事業環境見通し

+

### 主要市場の回復

- **自動車関連市場**  
期初想定を上回る回復ペースで推移
- **ドキュメント市場**  
期末に向けて回復傾向が継続

-

### 米中貿易摩擦の影響

- 一部製品への影響懸念の高まり



**依然として不透明な経済環境にあるものの、期初の想定通り  
部品事業、機器・システム事業ともに、期末に向けて一層の需要回復を見込む**

## 2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)

2021年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2020年3月期		2021年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,599,053	100.0%	<b>1,500,000</b>	<b>100.0%</b>	-99,053	-6.2%
営業利益	100,193	6.3%	<b>75,000</b>	<b>5.0%</b>	-25,193	-25.1%
税引前利益	148,826	9.3%	<b>120,000</b>	<b>8.0%</b>	-28,826	-19.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	107,721	6.7%	<b>88,000</b>	<b>5.9%</b>	-19,721	-18.3%
基本的EPS(円)	297.36	—	<b>242.80</b>	—	-54.56	—
設備投資額	106,003	6.6%	<b>100,000</b>	<b>6.7%</b>	-6,003	-5.7%
減価償却費	62,413	3.9%	<b>75,000</b>	<b>5.0%</b>	12,587	20.2%
研究開発費	79,241	5.0%	<b>80,000</b>	<b>5.3%</b>	759	1.0%
平均為替レート	ドル	109円	<b>105円</b>			
	ユーロ	121円	<b>115円</b>			

(ご参考) 2021年3月期 為替変動による影響額(前期比)：売上高 約 -360億円、税引前利益 約 -115億円

注) 2021年3月期予想のEPSは、2021年3月期上期の期中平均株式数を用いて算出しています。

## 2021年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (4月公表)		今回予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	341,093	21.3%	300,000	20.0%	<b>330,000</b>	<b>22.0%</b>	-11,093	30,000
半導体関連部品	247,228	15.5%	239,000	15.9%	<b>245,000</b>	<b>16.3%</b>	-2,228	6,000
電子デバイス	324,113	20.3%	328,000	21.9%	<b>316,000</b>	<b>21.1%</b>	-8,113	-12,000
部品事業 計	912,434	57.1%	867,000	57.8%	<b>891,000</b>	<b>59.4%</b>	-21,434	24,000
コミュニケーション	※ 270,818	17.0%	259,000	17.3%	<b>241,000</b>	<b>16.1%</b>	-29,818	-18,000
ドキュメントソリューション	359,915	22.5%	320,000	21.3%	<b>313,000</b>	<b>20.8%</b>	-46,915	-7,000
生活・環境	※ 73,747	4.6%	67,000	4.5%	<b>67,000</b>	<b>4.5%</b>	-6,747	0
機器・システム事業 計	704,480	44.1%	646,000	43.1%	<b>621,000</b>	<b>41.4%</b>	-83,480	-25,000
その他	16,737	1.0%	22,000	1.5%	<b>19,000</b>	<b>1.3%</b>	2,263	-3,000
調整及び消去	※ -34,598	-2.2%	-35,000	-2.4%	<b>-31,000</b>	<b>-2.1%</b>	3,598	4,000
売上高	1,599,053	100.0%	1,500,000	100.0%	<b>1,500,000</b>	<b>100.0%</b>	-99,053	0

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

最終ページに記載の「将来の見通しに関する記述等について」にご留意ください。

## 2021年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (4月公表)		今回予想			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	15,813	4.6%	13,000	4.3%	<b>13,000</b>	<b>3.9%</b>	-2,813	0
半導体関連部品	30,511	12.3%	30,000	12.6%	<b>30,000</b>	<b>12.2%</b>	-511	0
電子デバイス	31,744	9.8%	34,000	10.4%	<b>30,000</b>	<b>9.5%</b>	-1,744	-4,000
部品事業 計	78,068	8.6%	77,000	8.9%	<b>73,000</b>	<b>8.2%</b>	-5,068	-4,000
コミュニケーション	※ 11,259	4.2%	9,000	3.5%	<b>11,000</b>	<b>4.6%</b>	-259	2,000
ドキュメントソリューション	34,489	9.6%	30,000	9.4%	<b>20,000</b>	<b>6.4%</b>	-14,489	-10,000
生活・環境	※ -10,965	-	-14,000	-	<b>-14,000</b>	-	-3,035	0
機器・システム事業 計	34,783	4.9%	25,000	3.9%	<b>17,000</b>	<b>2.7%</b>	-17,783	-8,000
その他	-4,484	-	-6,000	-	<b>-4,000</b>	-	484	2,000
事業利益 計	108,367	6.8%	96,000	6.4%	<b>86,000</b>	<b>5.7%</b>	-22,367	-10,000
本社部門損益等	※ 40,459	-	24,000	-	<b>34,000</b>	-	-6,459	10,000
税引前利益	148,826	9.3%	120,000	8.0%	<b>120,000</b>	<b>8.0%</b>	-28,826	0

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

## 2021年3月期 事業セグメント別業績予想の主な修正要因 —前回予想比—

### 部品事業

売上高: +240億円 / 事業利益: -40億円

#### ➤ 産業・自動車用部品

売上高: +300億円 / 事業利益: 修正なし

- ・自動車関連市場は想定を上回るペースで回復
- ・事業利益は、上期の水準を踏まえ期初予想を据え置き

#### ➤ 半導体関連部品

売上高: +60億円 / 事業利益: 修正なし

- ・5G関連や通信インフラ向けセラミックパッケージの需要堅調
- ・事業利益は、上期の水準を踏まえ期初予想を据え置き

#### ➤ 電子デバイス

売上高: -120億円 / 事業利益: -40億円

- ・自動車関連市場は想定を上回るペースで回復
- ・一方、米中貿易摩擦によるマイナス影響により、売上、利益ともに修正

### 機器・システム事業

売上高: -250億円 / 事業利益: -80億円

#### ➤ コミュニケーション

売上高: -180億円 / 事業利益: +20億円

- ・上期の水準を踏まえ売上、利益ともに修正  
(売上) 下期は携帯電話端末及び情報通信サービス事業ともに回復を見込む  
(利益) 上期進捗及び下期の一層の原価低減により  
上方修正

#### ➤ ドキュメントソリューション

売上高: -70億円 / 事業利益: -100億円

- ・需要は回復傾向にあるものの、上期までの進捗を踏まえ  
売上、利益ともに修正

## 将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社